

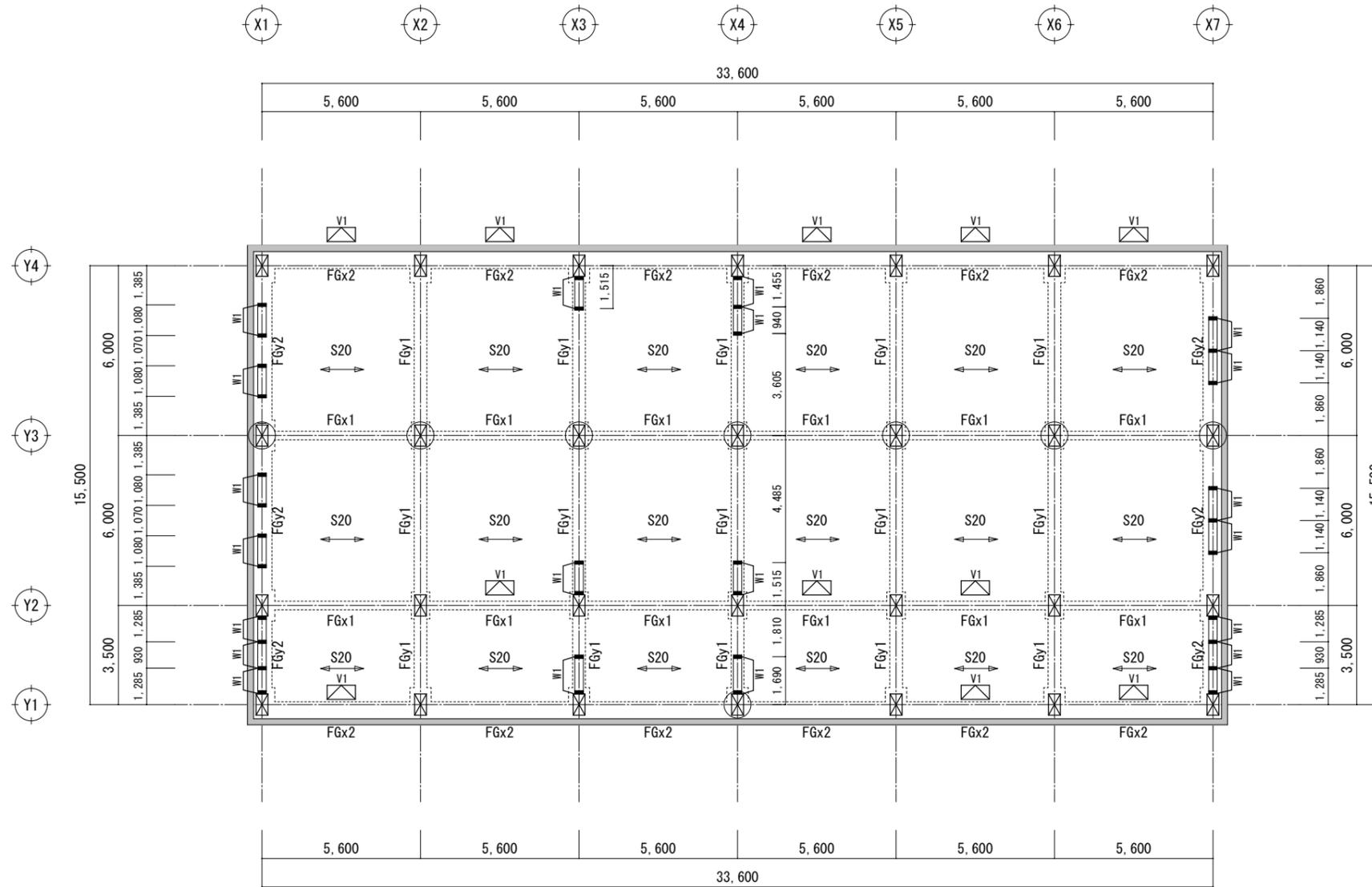
特記なき限り下記による

- ・ 設計GL=1FL-300とする
- ・ 基礎下端は設計GL-1,865とする
- ・ \leftrightarrow はスラブ主筋方向を示す
- ・ \square は基礎スラブ FS40 t=400を示す。

1階床伏図 (土台、1F柱、壁、ブレース、1Fスラブ)

S-02

SCALE: A3=1/200
2020/02/05



凡 例			
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度
柱	⊠	C1	420×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 柱勝ち納まり
	⊙	C1	(1~2階通し柱) ⊙ C1 (3~4階通し柱)
	■	C2	120×300 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 梁勝ち納まり
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度

	符号	樹種・強度	サイズ (mm)
土台	— D1	ヒノキ集成材 E95-F270 (対称異等級)	120×300

耐力壁			
	符号	仕様	耐力 (kN)
▽	V1	ブレース 240×240 ヒノキ集成材 E95-F315 (同一等級)	49.00 kN/m (換算壁倍率: 25倍)
∩	W1	合板耐力壁 両面貼り仕様 構造用合板 24mm カマツ・スギ 複合 CN75 2列千鳥@75mm	

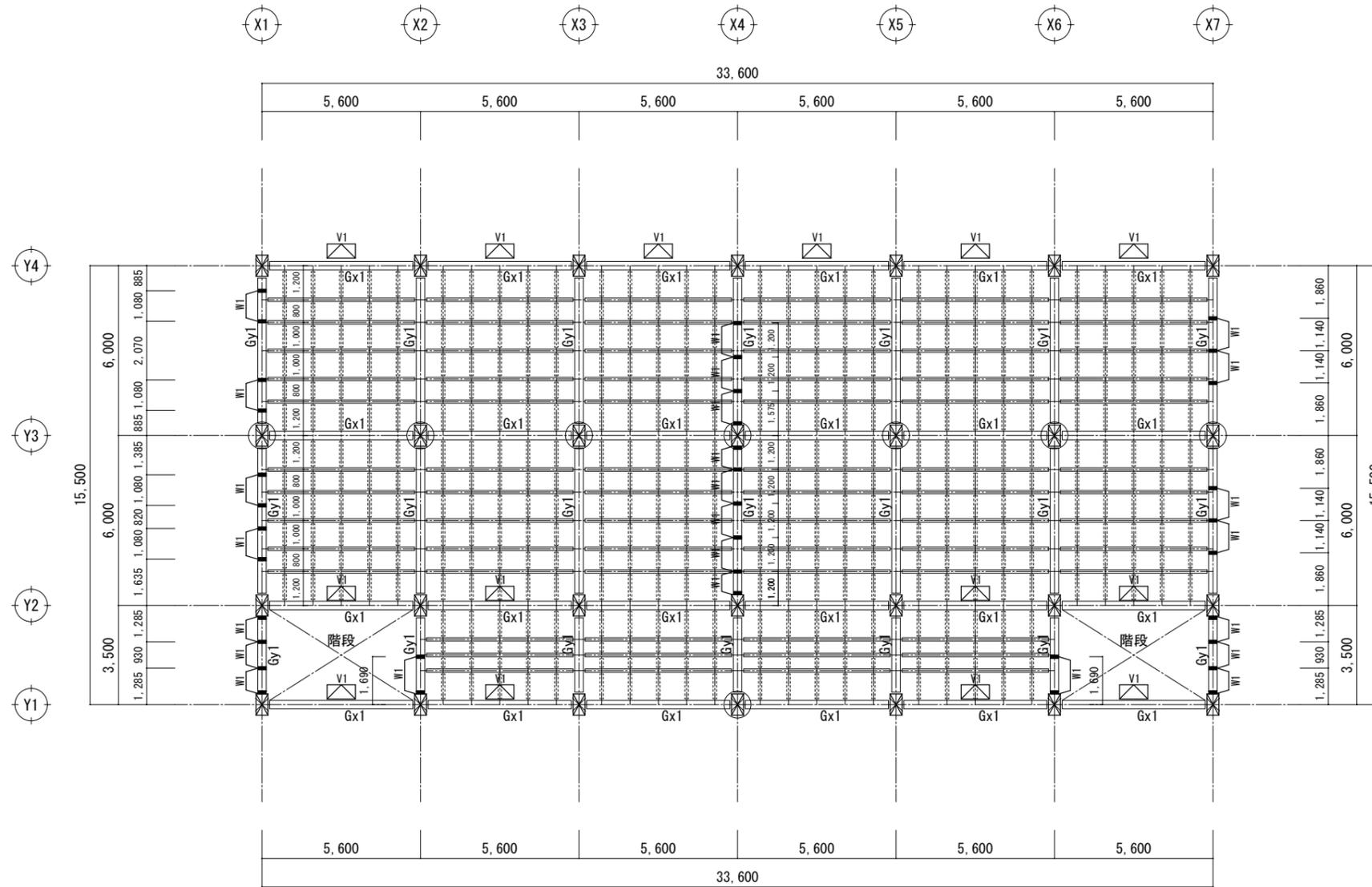
特記なき限り下記による

- ・ スラブ天端は1FL-365(設計GL-65)とする
- ・ 基礎梁天端は1FL-365(設計GL-65)とする
- ・ 基礎梁増し打ち天端は、1FL+100(設計GL+400)とする
- ・ は基礎梁天端増し打ちを示す
- ・ はスラブ主筋方向を示す
- ・ 耐力壁内の土台取付用M16アンカーボルトは250mm以内に設置する
- ・ アンカーボルトM16は360mm以上基礎に埋め込むこと
- ・ 通り軸の柱はC1とし、合板耐力壁W1の両端柱はC2とする (各階共通)
- ・ 土台は、D1とする

2階床伏図 (梁、2F柱、壁、ブレース)

S-03

SCALE : A3=1/200
2020/02/05



凡 例				
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度	
柱		C1	420×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 柱勝ち納まり	
		C1 (1~2階通し柱)		C1 (3~4階通し柱)
		C2	120×300 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 梁勝ち納まり	
		下階柱		
梁		B45	120×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gx1	300×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gy1	300×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	

符号	樹種・強度	サイズ (mm)
	スギ集成材 E65-F225 (同一等級)	120x120 @1000

耐力壁		
符号	仕様	耐力 (kN)
	ブレース 240×240 ヒノキ集成材 E95-F315 (同一等級)	
	合板耐力壁 両面貼り仕様 構造用合板 24mm カマツスギ 複合 CN75 2列千鳥@75mm	49.00 kN/m (換算壁倍率:25倍)

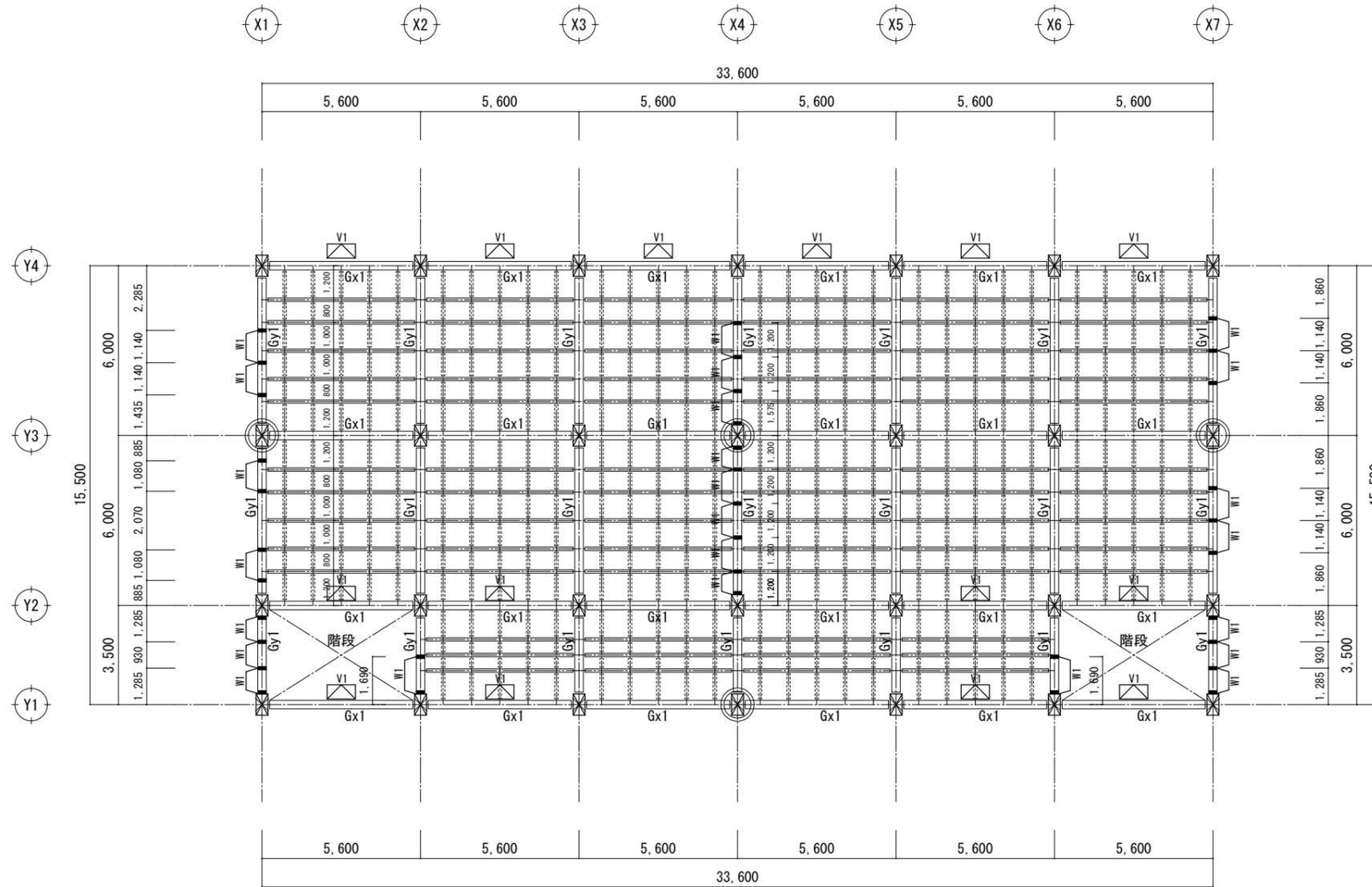
特記なき限り下記による

- ・ は当該階の柱を示す
- ・ 特記なき小梁はB45とする
- ・ 梁天端レベルは、FL-300 とする
- ・ 床の構造用合板は、厚さ24mm、梁天端に釘CN75 1列@75 四周釘打ちとする
- ・ は床開口を示す

3階床伏図 (梁、3F柱、壁、ブレース)

S-04

SCALE : A3=1/200
2020/02/05



凡 例				
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度	
柱		C1	420×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 柱勝ち納まり	
		C1 (1~2階通し柱)		C1 (3~4階通し柱)
		C2	120×300 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 梁勝ち納まり	
		下階柱		
梁	符号	サイズ (mm)	樹種・強度	
		B45	120×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gx1	300×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gy1	300×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	

符号	樹種・強度	サイズ (mm)
	合板受材 b1 スギ集成材 E65-F225 (同一等級)	120x120 @1000

耐力壁		
符号	仕様	耐力 (kN)
	V1 ブレース 240×240 ヒノキ集成材 E95-F315 (同一等級)	
	W1 合板耐力壁 両面貼り仕様 構造用合板 24mm カマツスギ 複合 CN75 2列千鳥@75mm	49.00 kN/m (換算壁倍率:25倍)

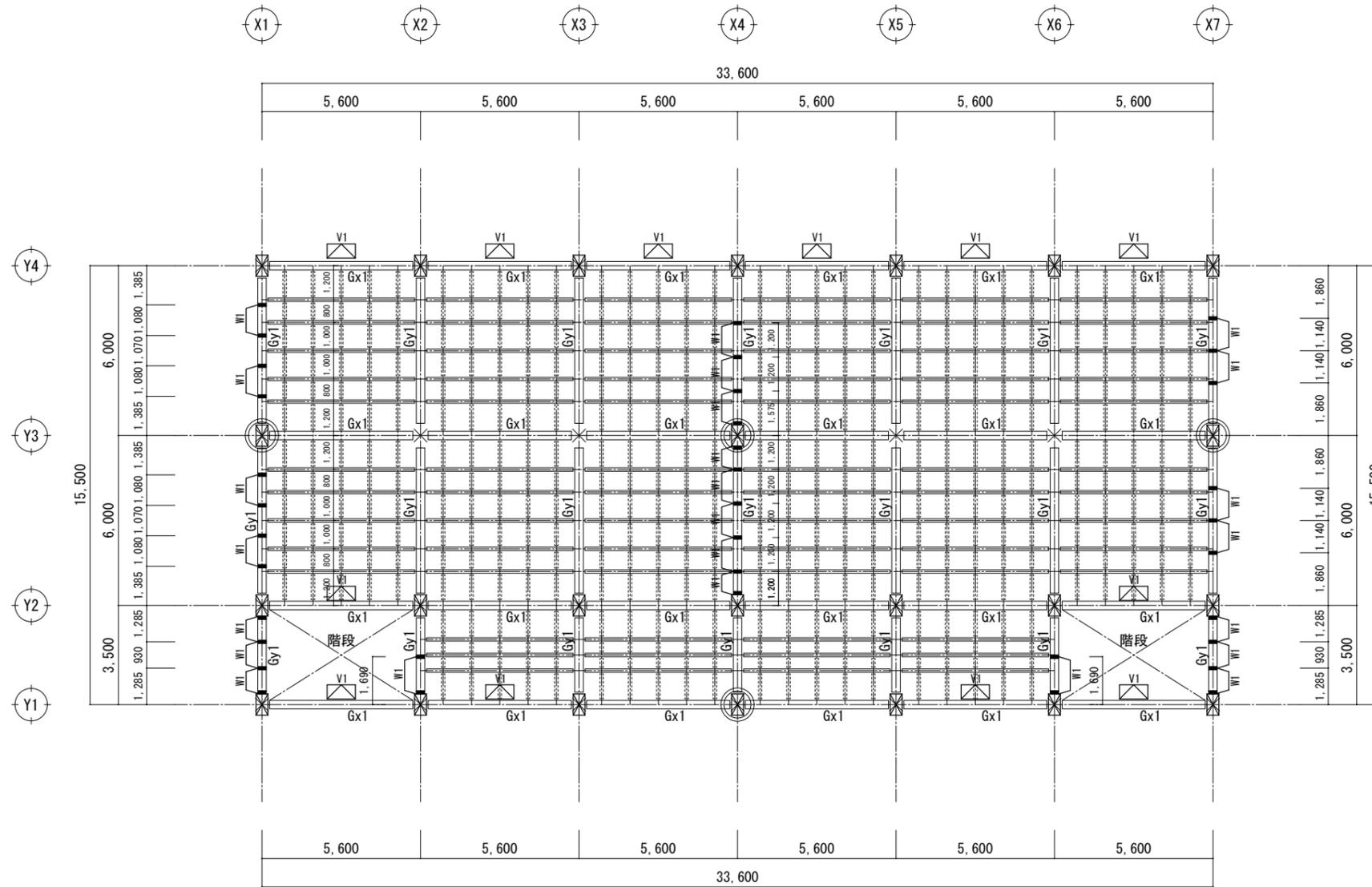
特記なき限り下記による

- ・ は当該階の柱を示す
- ・ 特記なき小梁はB45とする
- ・ 梁天端レベルは、FL-300 とする
- ・ 床の構造用合板は、厚さ24mm、梁天端に釘CN75 1列@75 四周釘打ちとする
- ・ は床開口を示す

4階床伏図 (梁、4F柱、壁、ブレース)

S-05

SCALE : A3=1/200
2020/02/05



凡 例			
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度
柱	☒	C1	420×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 柱勝ち納まり
	⊗	C1 (1~2階通し柱)	⊗ C1 (3~4階通し柱)
	■	C2	120×300 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 梁勝ち納まり
	×	下階柱	
梁	符号	サイズ (mm)	樹種・強度
	≡	B45	120×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)
	≡	Gx1	300×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)
	≡	Gy1	300×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)

符号	樹種・強度	サイズ (mm)
合板受材	スギ集成材 E65-F225 (同一等級)	120x120 @1000

耐力壁		
符号	仕様	耐力 (kN)
▽	ブレース 240×240 ヒノキ集成材 E95-F315 (同一等級)	49.00 kN/m (換算壁倍率:25倍)
∩	合板耐力壁 両面貼り仕様 構造用合板 24mm カマツ・スギ 複合 CN75 2列千鳥@75mm	

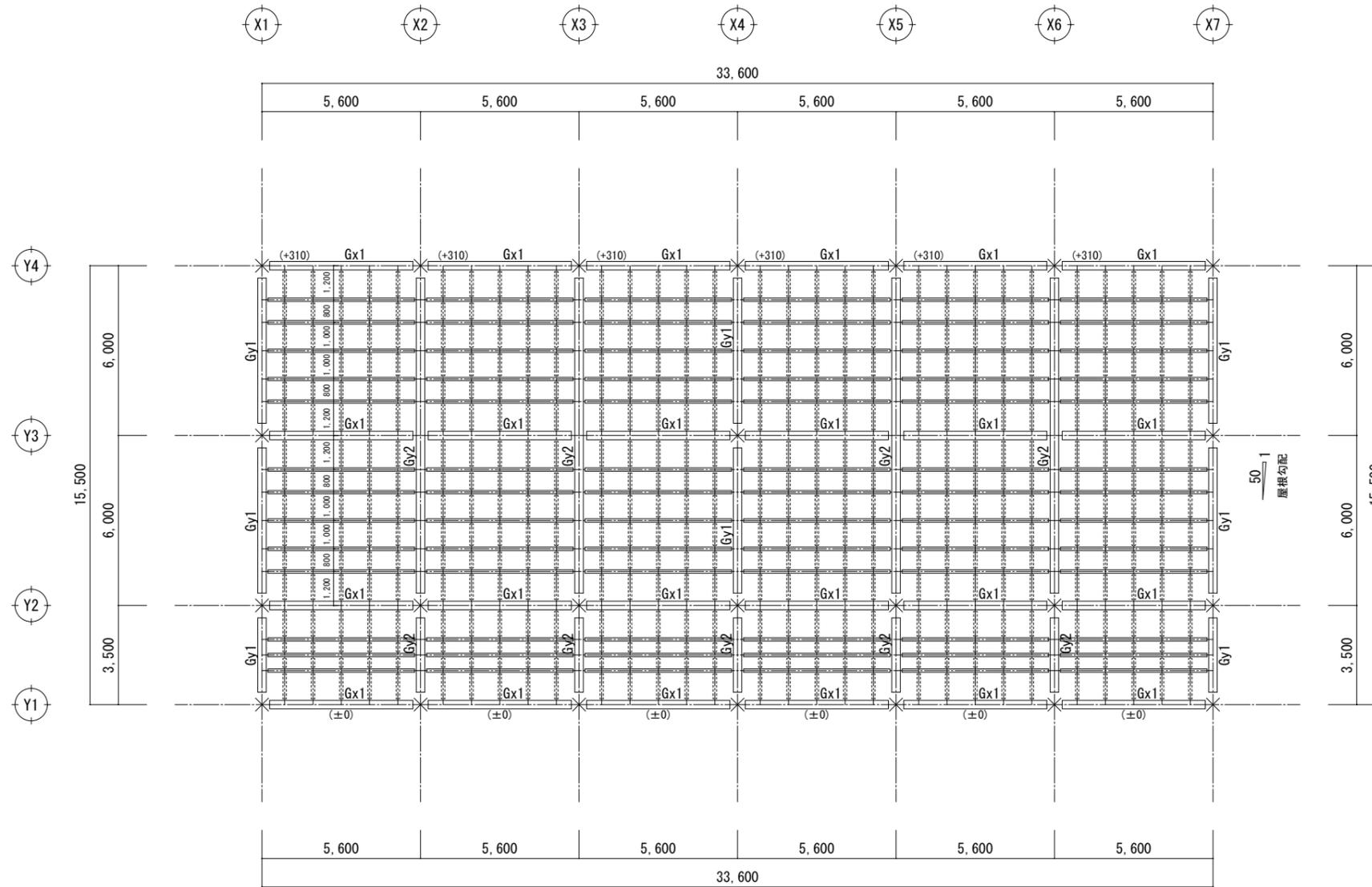
特記なき限り下記による

- ☒ は当該階の柱を示す
- 特記なき小梁はB45とする
- 梁天端レベルは、FL-300 とする
- 床の構造用合板は、厚さ24mm、梁天端に釘CN75 1列@75 四周釘打ちとする
- ∩ は床開口を示す

R階床伏図 (梁、4F柱、壁、ブレース)

S-06

SCALE : A3=1/200
2020/02/05



凡 例				
	符号	サイズ (mm)	樹種・強度	
柱		C1	420×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 柱勝ち納まり	
		C1 (1~2階通し柱)		C1 (3~4階通し柱)
		C2	120×300 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級) 梁勝ち納まり	
		下階柱		
梁		B33	120×330 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gx1	300×450 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gy1	300×750 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	
		Gy2	300×1200 スギ集成材 E65-F225 (対称異等級)	

	符号	樹種・強度	サイズ (mm)
合板受材	 b1	スギ集成材 E65-F225 (同一等級)	120x120 @1000

耐力壁			
	符号	仕様	耐力 (kN)
	V1	ブレース 240×240 ヒノキ集成材 E95-F315 (同一等級)	
	W1	合板耐力壁 両面貼り仕様 構造用合板 24mm カマツスギ 複合 CN75 2列千鳥@75mm	49.00 kN/m (換算壁倍率:25倍)

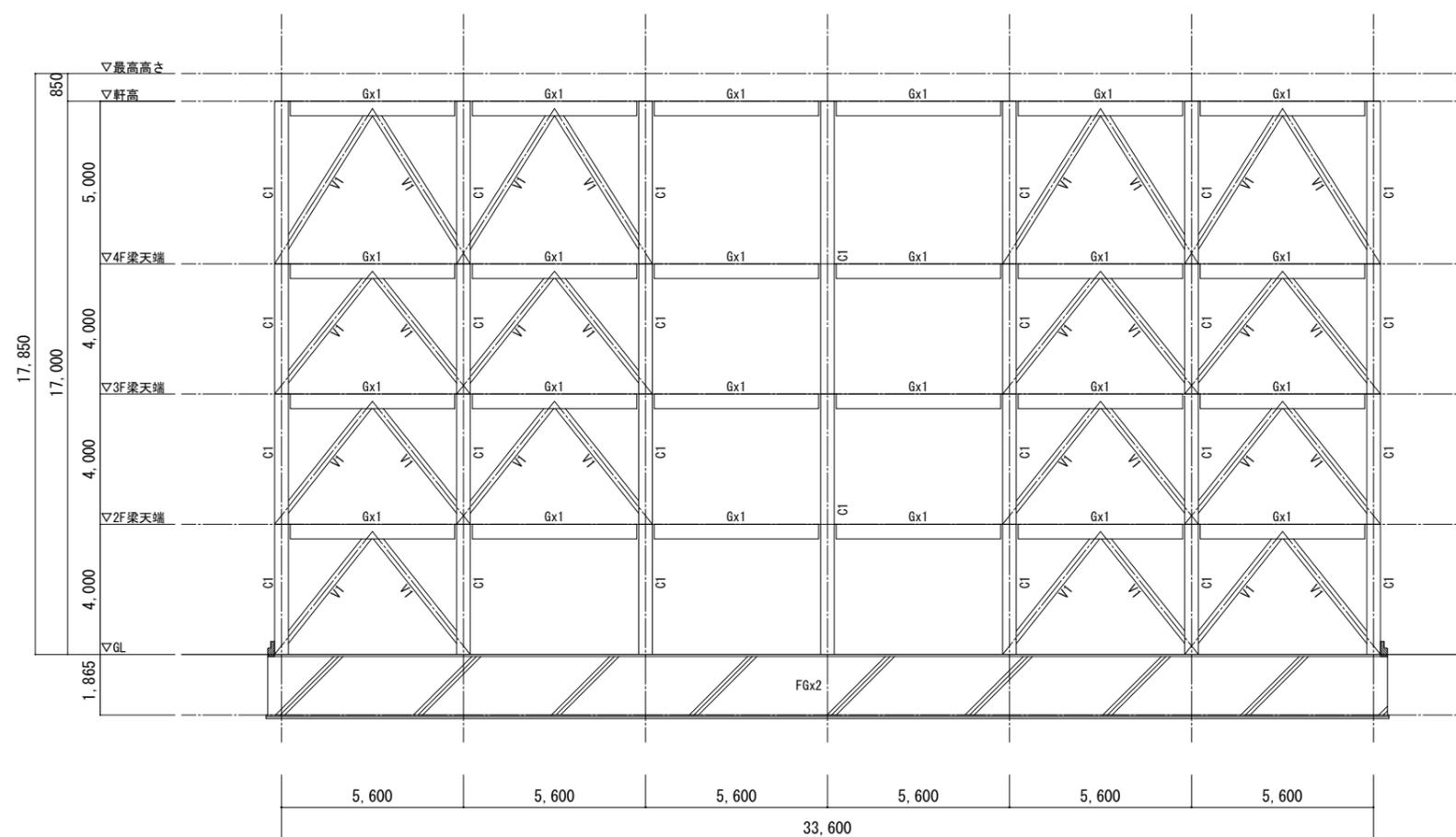
特記なき限り下記による

- ・ は下階の柱を示す
- ・ 特記なき小梁はB33とする
- ・ 梁天端レベルは、FL-300 とする
- ・ 床の構造用合板は、厚さ24mm、梁天端に釘CN75 1列@75 四周釘打ちとする
- ・ は床開口を示す

軸組図 (1) 長手方向

S-07
SCALE: A3=1/200
2020/02/05

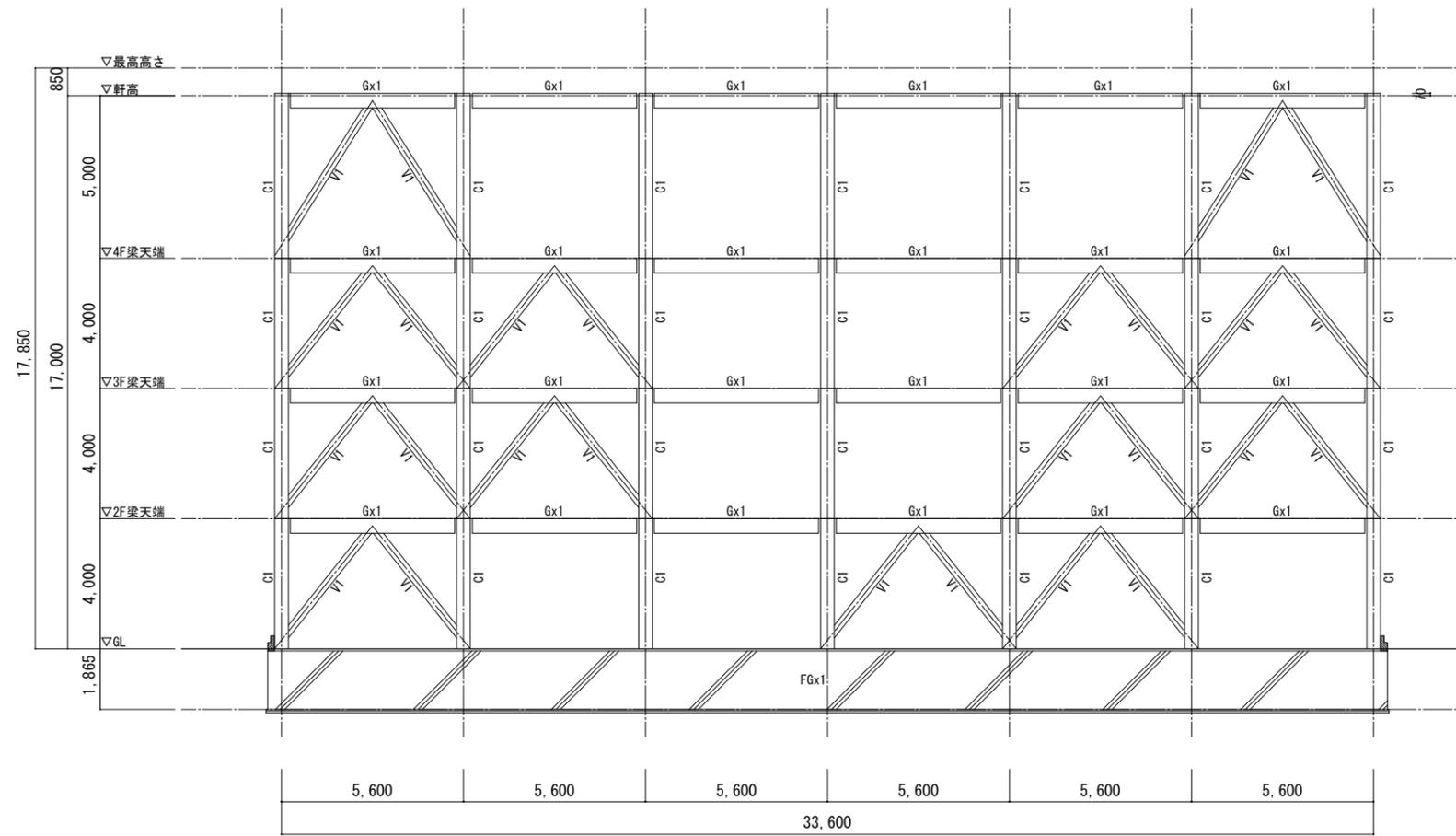
- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す



Y1 通り軸組図 S=1/200



- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す



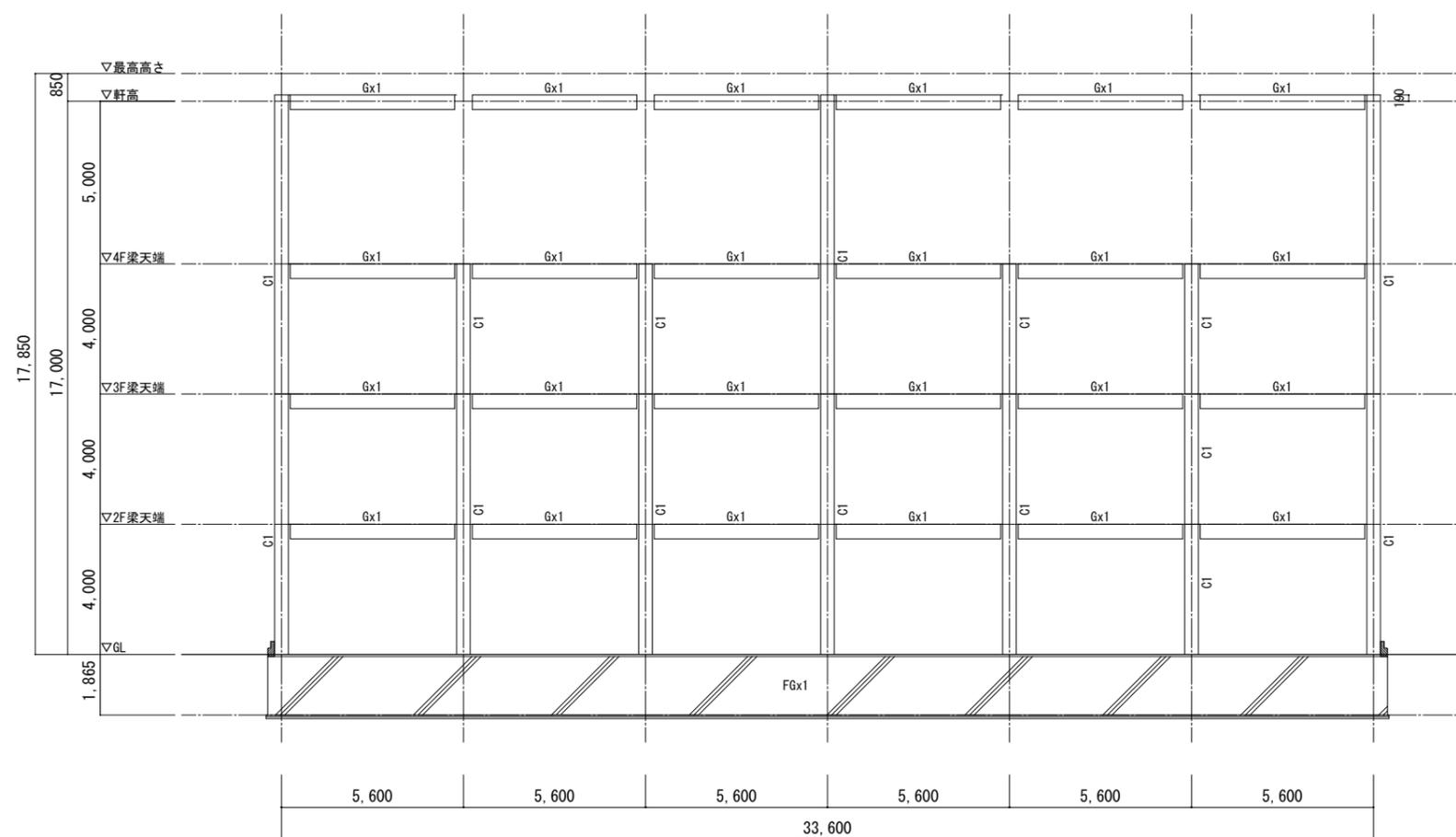
Y2 通り軸組図 S=1/200



軸組図 (3) 長手方向

S-09
SCALE: A3=1/200
2020/02/05

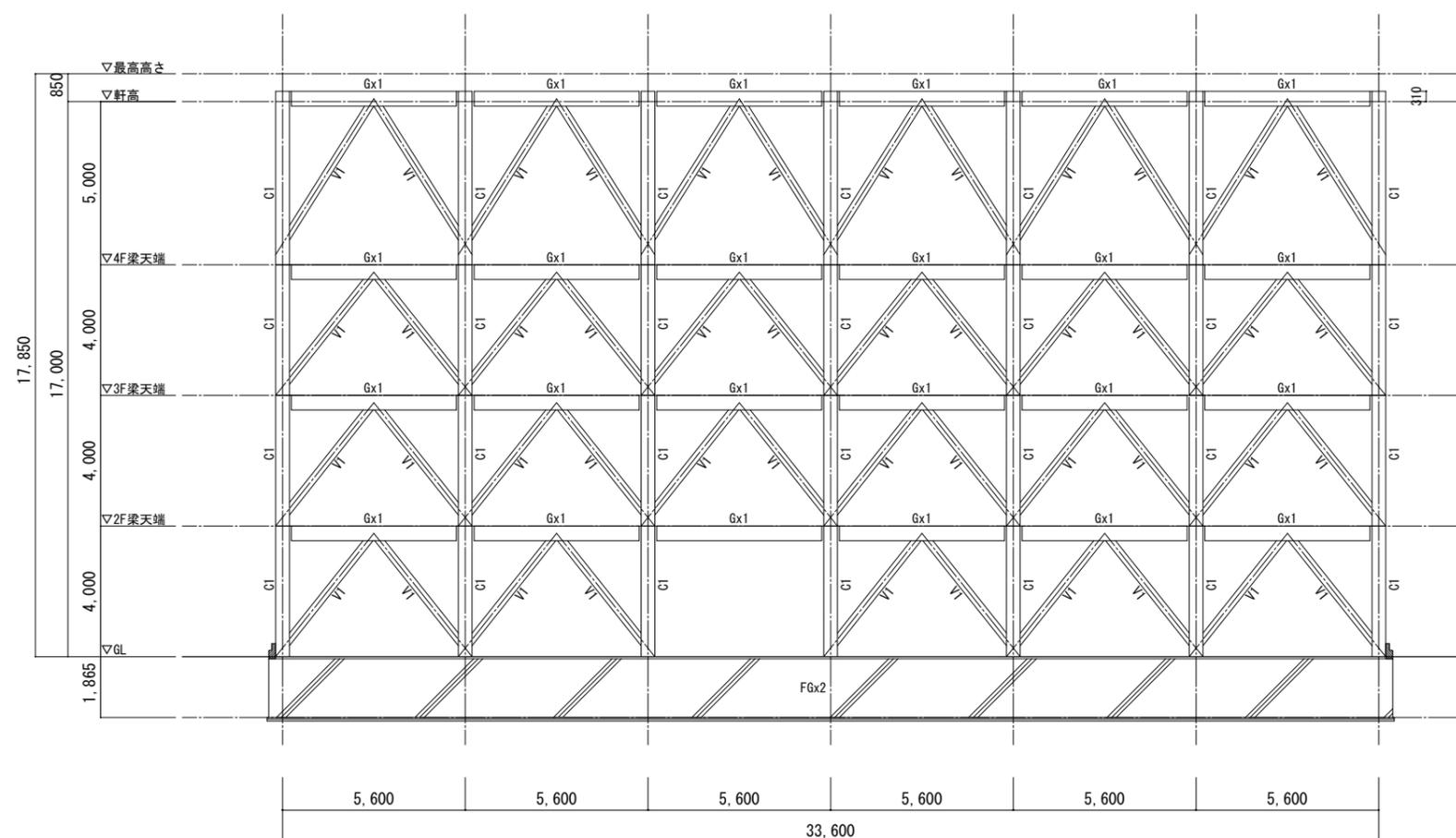
- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す



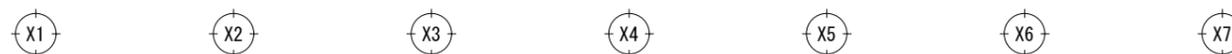
Y3 通り軸組図 S=1/200



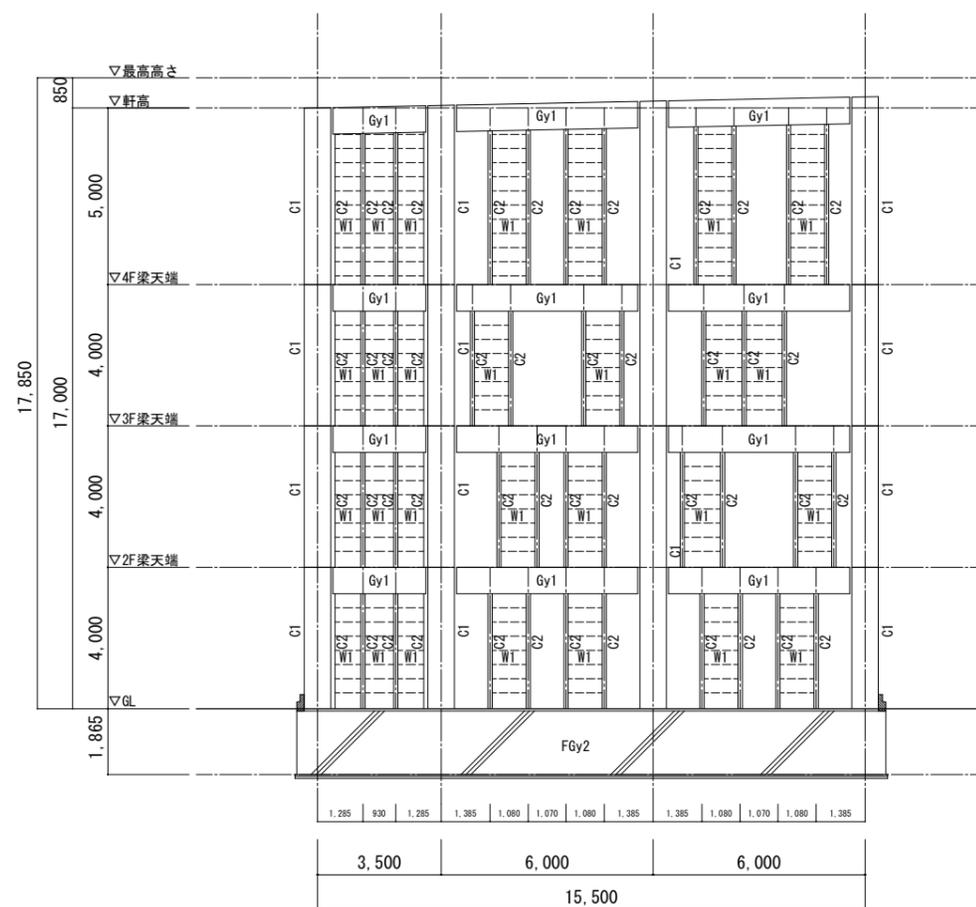
- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す



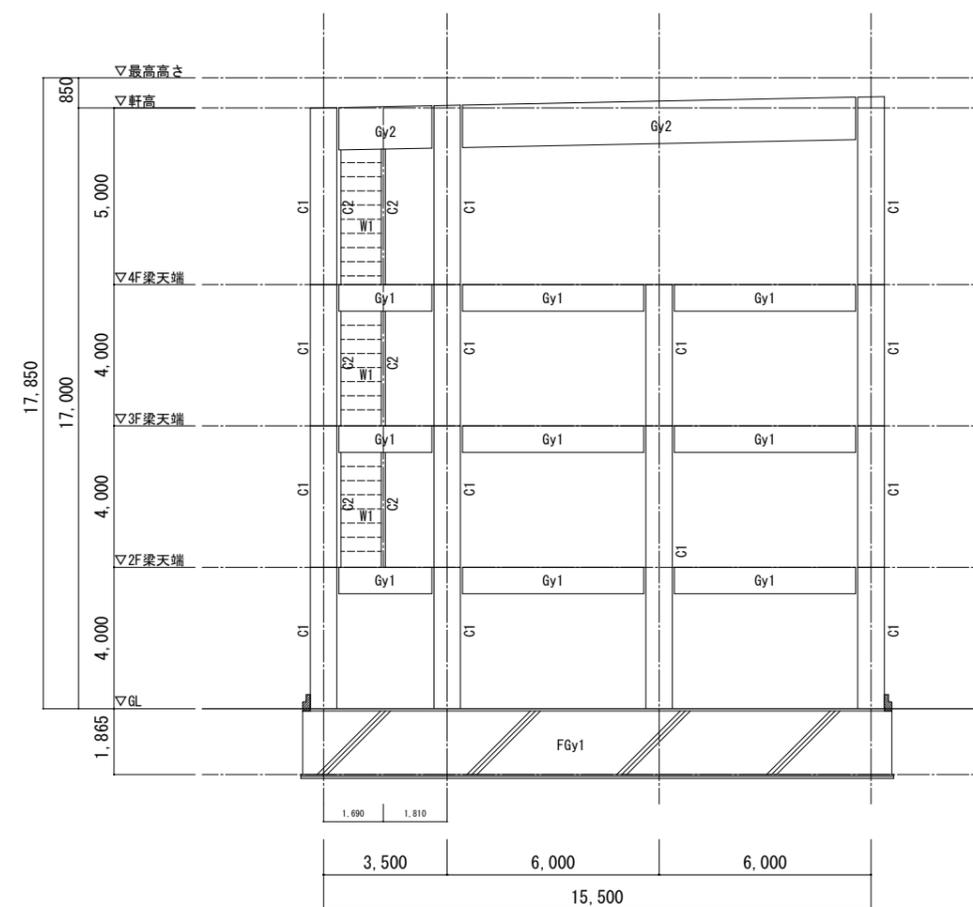
Y4 通り軸組図 S=1/200



- 特記なき限り下記による
- 土台天端は1FL-225とする
 - 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - 基礎下端は設計GL-1865とする
 - 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 -  は耐力壁を示す
 -  は増打ちを示す



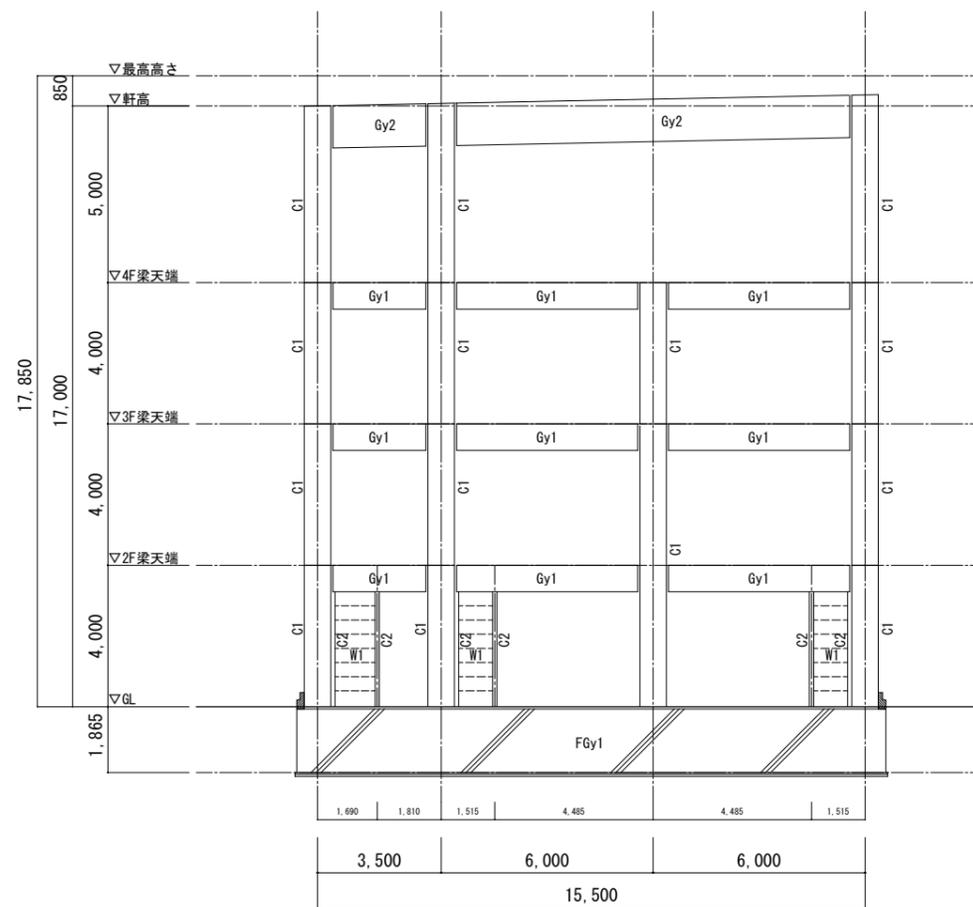
X1 通り軸組図 S=1/200



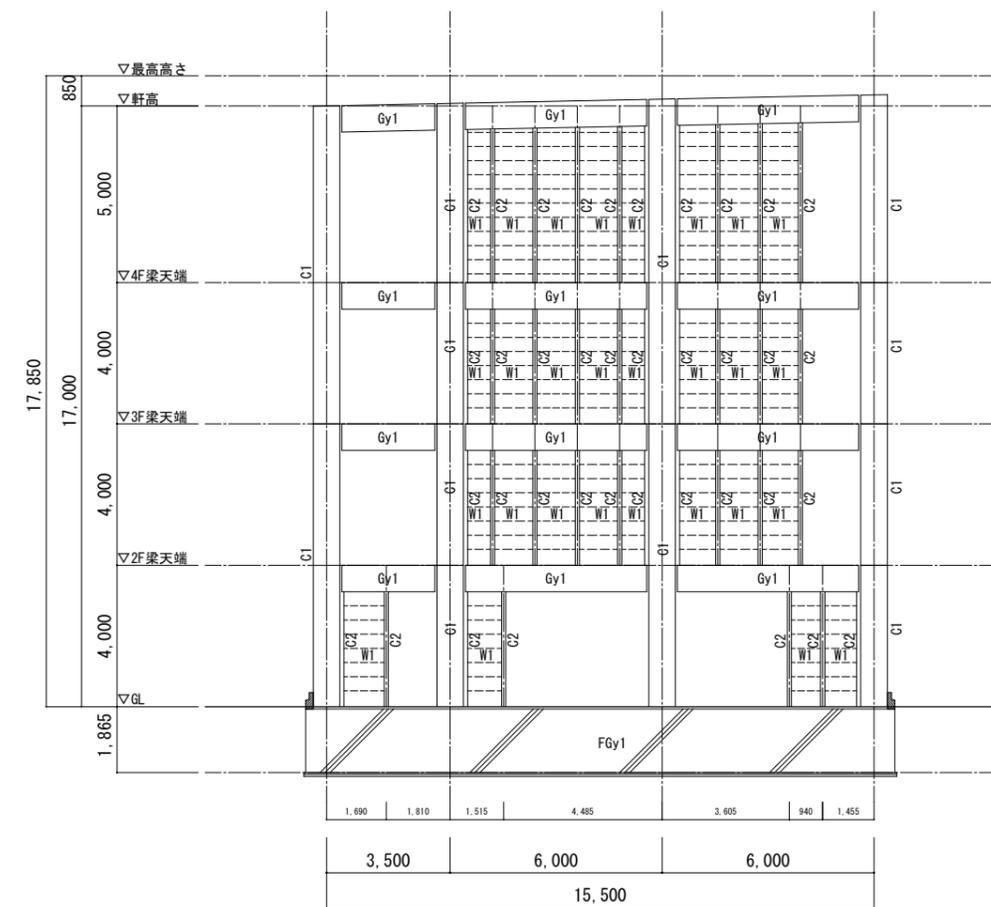
X2 通り軸組図 S=1/200



- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す



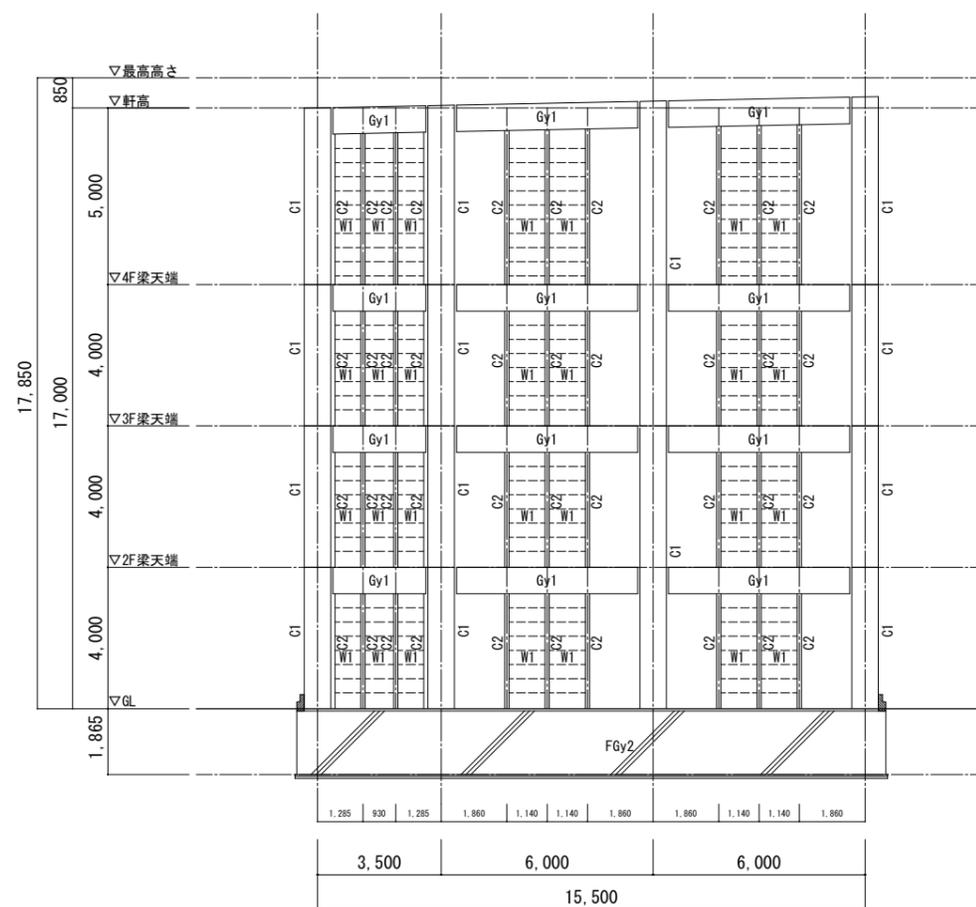
X3 通り軸組図 S=1/200



X4 通り軸組図 S=1/200



- 特記なき限り下記による
- ・ 土台天端は1FL-225とする
 - ・ 基礎梁天端は設計GL-65とする
 - ・ 基礎下端は設計GL-1865とする
 - ・ 壁の構造用合板は、JAS2級 厚さ24mm以上とする
 - ・  は耐力壁を示す
 - ・  は増打ちを示す

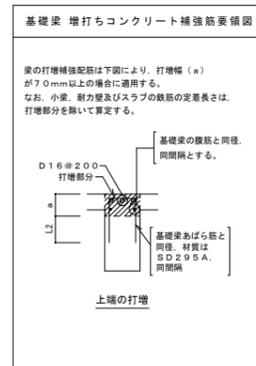


X7 通り軸組図 S=1/200



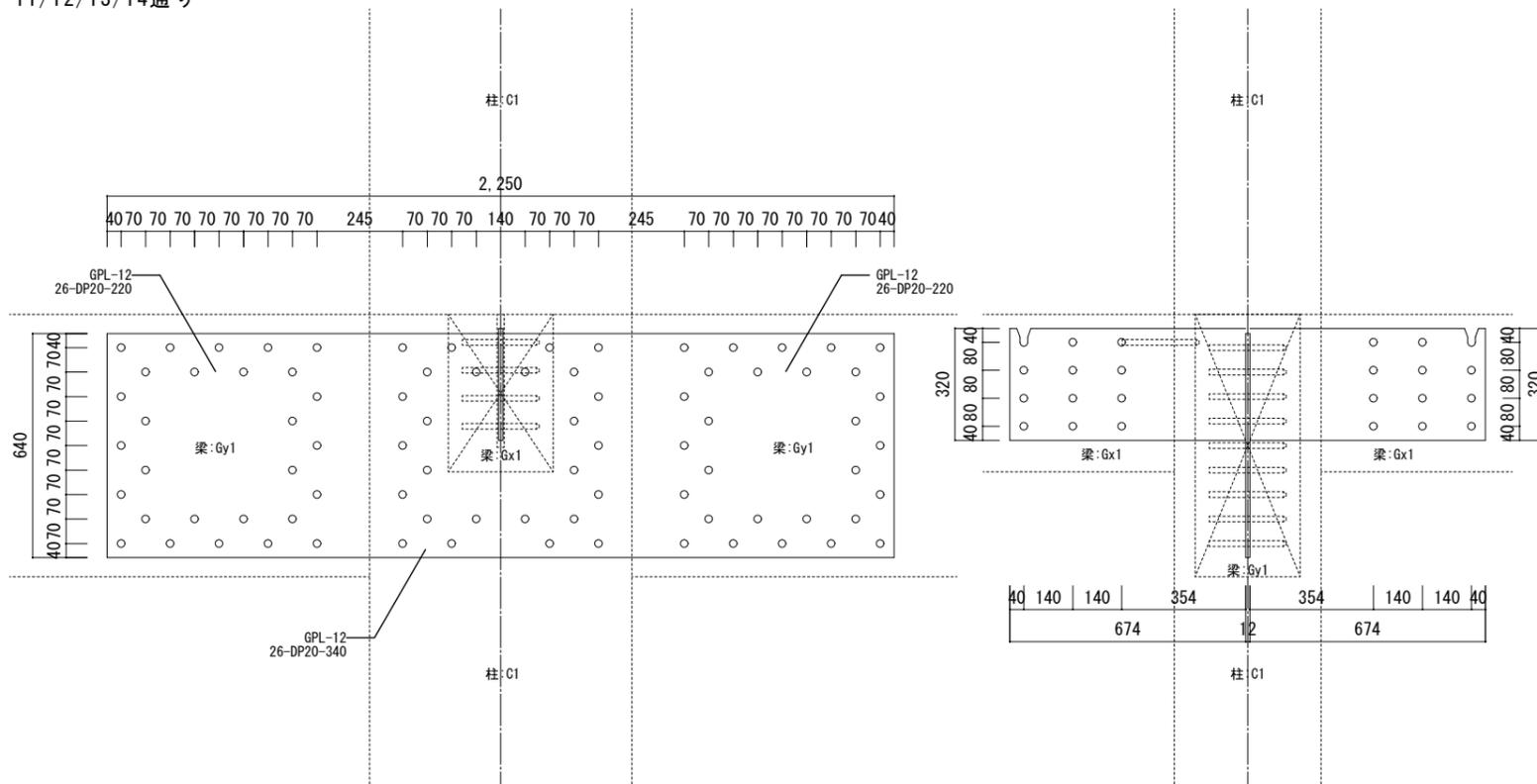
基礎梁リスト	S=1/30		特記なき限り下記による ・コンクリート Fc24 ・補正筋 D10#1000		・鉄筋 D10~D16 : SD295A D19~D25 : SD345	
符号	FGx1	FGx2	F6y1	F6y2		
位置	全断面	全断面	全断面	全断面		
設計GL	300	600	450	650		
断面						
BxD	300x1800	600x1800	450x1800	650x1800		
上端筋	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25		
下端筋	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25		
STP	□-D13 #200	□-D13 #200	□-D13 #200	□-D13 #200		
腹筋	8-D10	8-D10	8-D10	8-D10		

礎柱リスト	S=1/30		特記なき限り下記による ・コンクリート Fc24 ・補正筋 D10#1000		・鉄筋 D10~D16 : SD295A D19~D25 : SD345	
符号	FC1	FC2	梁交差部配筋要領図			
位置	全断面	全断面				
断面						
BxD	650x950	750x1100				
主筋	16-D22	16-D22				
HOOP	□-D13 #150	□-D13 #150				

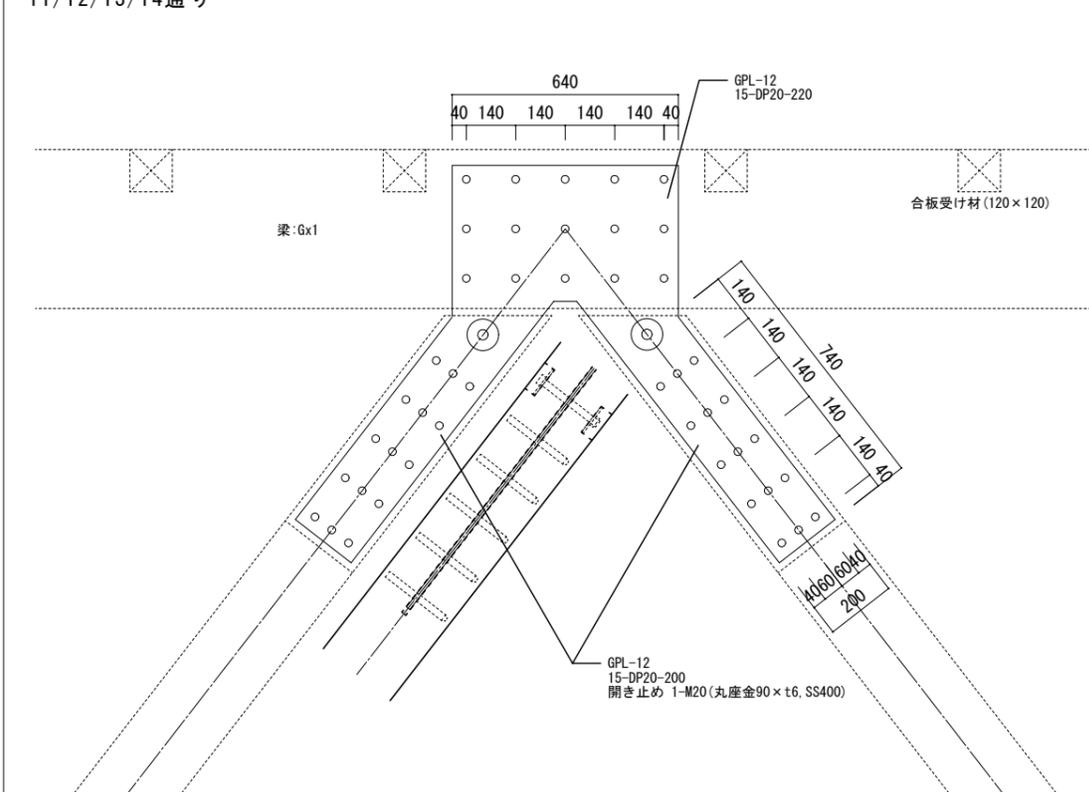


スラブリスト		S=1/30		特記なき限り下記による ・コンクリート Fc24 ・スラブ筋の定着は増打部は見込まず、構造躯体に定着すること		・鉄筋 D10~D16 : SD295A	
符号	版厚	位置	短辺方向		長辺方向		備考
			端部(元端)	中央部(先端)	端部(元端)	中央部(先端)	
S 20	200	上筋	D13 #200	←	D13 #200	←	
		下筋	D13 #200	←	D13 #200	←	
FS 40	400	上筋	D16 #200	←	D16 #200	←	
		下筋	D16 #200	←	D16 #200	←	

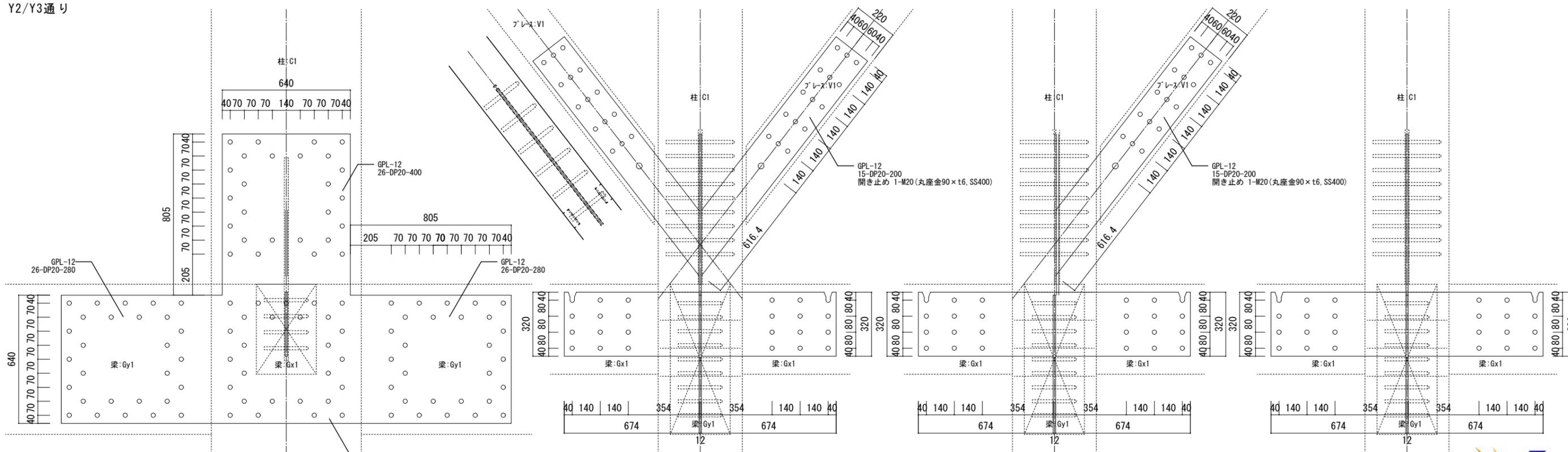
Y1/Y2/Y3/Y4通り



Y1/Y2/Y3/Y4通り



Y2/Y3通り

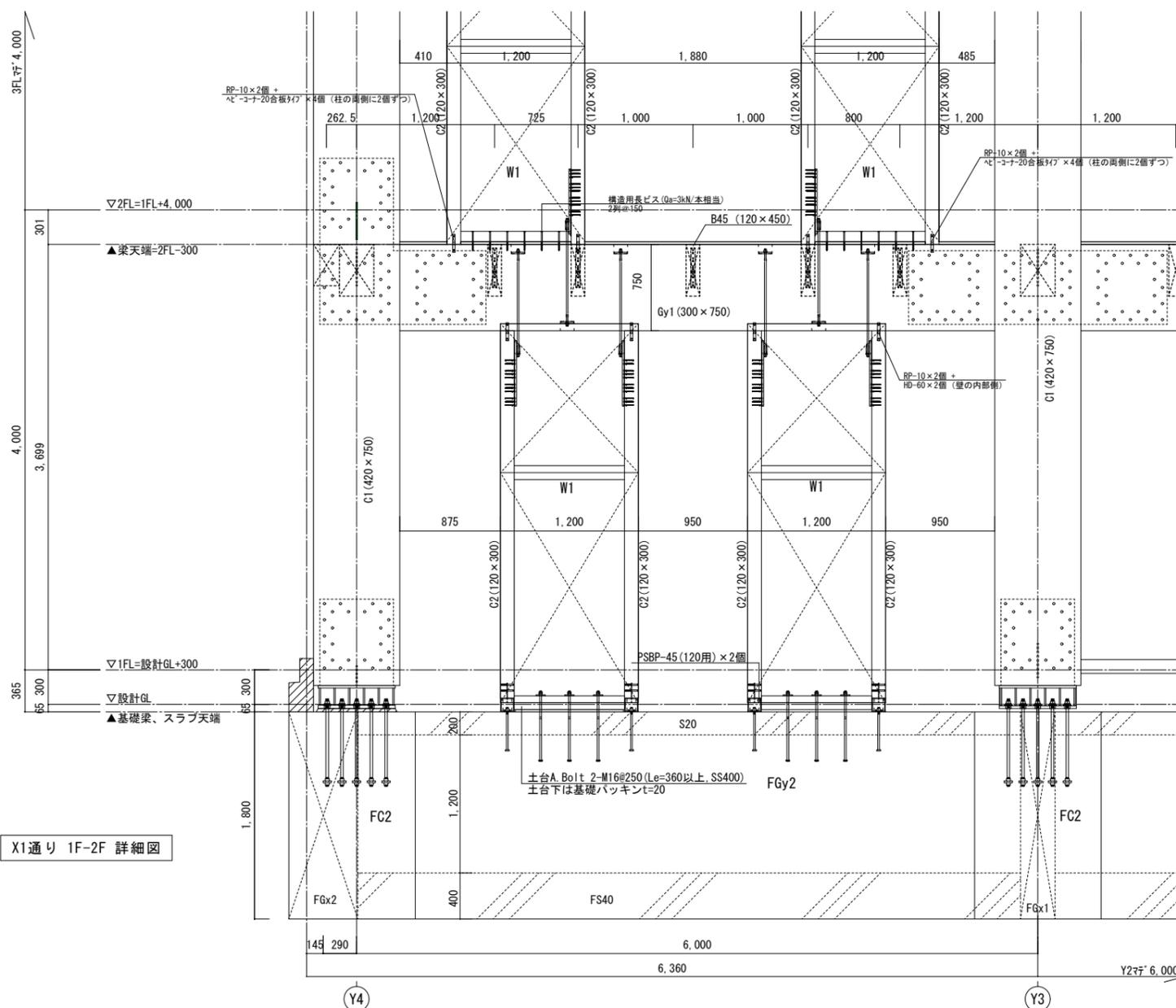
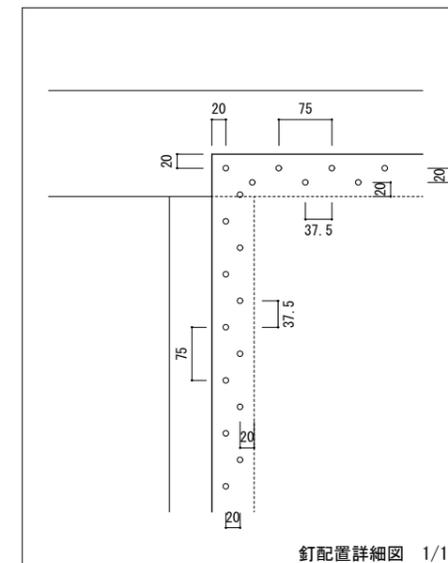
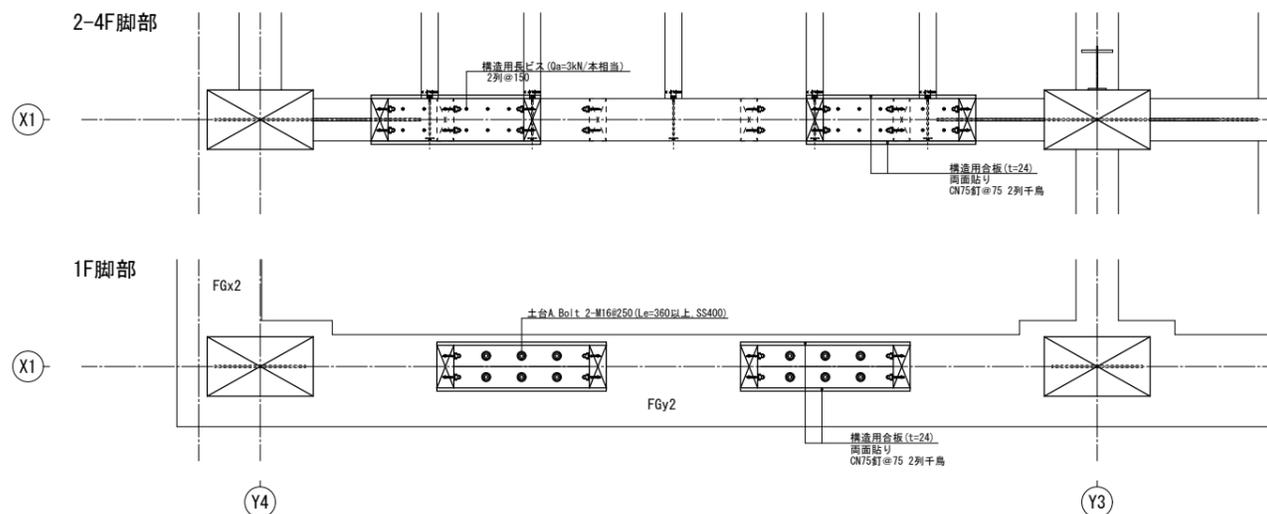


- 凡例
- ○ - DP △ △ - □ □ □
 - : ドリフトピン本数
 - △ : ドリフトピン径
 - : ドリフトピン長さ

特記なき限り下記による
 ・ 鋼材はSS400とする。
 ・ ドリフトピンの径はφ20とする。

九経連 木造ビル構造標準モデル研究会





X1通り 1F-2F 詳細図

特記なき限り下記による

- ・ 構造用合板24mm (JAS2級 カラマツ-スギ複合 表層カラマツ)は四周を軸組にCN75釘2列75mm千鳥打ちとする
- ・ 間柱、継目材、合板受材はスギ集成材 E65-F225 (対称異等級)とする
- ・ 間柱は1000mm間隔で配置し、連続壁端部など端数が出る箇所は合板幅600mm以上となるよう適宜間柱位置を調整する。
- ・ 構造用合板は、1200mm幅を標準とする。
- ・ 間柱の上下及び継目材の左右は20mm大入れの上、2-N75斜め釘打ちとする
- ・ 土台と基礎はM16アンカーボルト@250で緊結する